

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会にかかる概算事業費等の状況について

1. 概算事業費

(1) 施設整備に要する経費

①競技会場として決定された県立施設

施設名	想定事業費	備 考
(仮称)彦根総合運動公園	約200億円	施設整備費：約116億円、基盤工事費：約30億円、地盤対策費：約18億円、用地補償費：約26億円、間接費：約10億円
新県立体育館	約94億円	建設工事費：約74億円、基盤造成費：約12億円、用地費：約2億円、初期備品購入費：約2億円、調査・設計監理費(造成・建築)：約4億円
琵琶湖漕艇場	未定	H29 コース等整備基本計画策定、耐震診断・設計費等 0.2億円
長浜バイオ大学ドーム	約2億円 (一部未定)	H29 電光表示設備改修工事、北側出入口新設工事等 2.4億円
ウカルちゃんアリーナ	未定	

※今後、競技会場となる他の施設の改修等のための経費が必要になる。

②方向性を検討中の施設

施設名	想定事業費	備 考
プール	未定	県と市町で負担

③競技会場となる市町立施設

内 容	想定事業費	備 考
市町競技施設整備費補助金	未定	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から制度を創設、支援を開始 各施設の必要な改修等の規模が明らかになった時点で、支援総額の目安が判明

※県内で施設が確保できない場合、県外開催のための経費が必要になる。

(2) 開催経費

内 容	想定事業費	備 考
開閉会式、市町運営支援等	約60～70億円	現時点では、先催県の平均額をもって必要な経費の目安として想定

(3) 競技力向上対策費

内 容	想定事業費	備 考
選手強化、指導者養成、競技環境の整備等	約30～35億円	現時点では、先催県の平均額をもって必要な経費の目安として想定

2. 複合化を検討した施設の今後の方向性について

(1) スポーツ会館

①施設等概要

- ・ 設置年：昭和 59 年
- ・ 所在地：大津市御陵町
- ・ 敷地面積：3,061.02 m²（国有地）

②現状

- ・ 経年劣化により屋根、外壁等の改修が必要。
- ・ 老朽化している測定機器の更新が必要。

③今後の方向性について

- ・ トレーニング機能について新県立体育館に複合化。
- ・ 新県立体育館竣工後は県立施設としては廃止し、その後の利活用について地元大津市と協議。

(2) ライフル射撃場

①施設等概要

- ・ 設置年：昭和 55 年
- ・ 所在地：大津市大石東町
- ・ 敷地面積：15,060 m²（民有地）

②現状

- ・ 老朽化が激しいことから、建物や屋外階段の修繕が必要。
- ・ 上下水道がないことや駐車場が狭いなど、国体会場として活用できない。

③今後の方向性について

- ・ 複合化による移転整備は困難であり、必要最小限の修繕を行うことで、現施設を競技力向上のための練習拠点として維持を行う。
- ・ 国体競技は仮設開催または県外開催を検討。